



# まつお 正秀のかわら版

自宅 能登町 12 - 58 - 412 能登レックスマンション Tel・Fax73 - 0775

携帯 090 - 6960 - 4570 議員団控え室 Tel35 - 3368 Fax22 - 7815

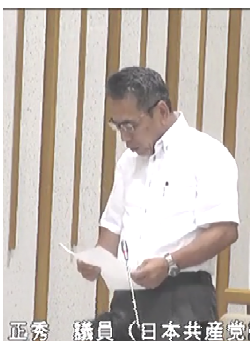
西宮議員団ホームページ (まつおの活動紹介あり) <http://nishinomiya.jcp-giin.net/>

ブログはアメーバブログで「まつお正秀の雑記帳」です

## 9月議会は10月3日に本会議終了

**議案討論と決算意見表明を私が行いました**  
今議会に施設使用料値上げ条例案が

今9月議会では前半に一般質問 私の質問は前号で紹介) や議案審査が行われました。その議案の中には公民館、市民館、スポーツ施設などの使用料値上げの為の17にもなる条例案が提案され、党議員団は他会派とともに賛成多数で継続審査を求めました。



正秀 議員(日本共産党)  
自席で討論を行う私

この値上げ条例案は以前、包括外部監査 第3者機関で中核市には義務付け) から、施設運営にかかわる市の経費に対し、受益者(利用者)の負担が低すぎるという指摘がなされていきました。市からはそれを踏まえて検討した結果の条例案だと説明が。しかし、利用団体

私たちの共産党議員団は基本的に使用料値上げには反対という立場ですが、今回は自民党派 政新会) や会派ぜんしん、維新西宮市議団なども根拠が不明確、準備が足りないなどの理由から議決せ

まず送りする「継続審査」を求めるという動きとなり、我々としては単純な反対だけでは多数決によって否決されてしまう恐れあり、採決では継続審査を主張し、私が会派として「継続審査」への賛成討論を行いました。

採決結果は、公明党や市民クラブ改革」が継続審査に反対しましたが、多数決で継続審査に。今後まだ予断は許しませんが、当局は改めて検討し直して提案することになります。

**本会議最終日にも討論**

**困った時は日本共産党** 上記まつお迄 活動報告は上記の議員団ホームページから

まつおの議会質問詳細 (答弁含む) 等は西宮市役所ホームページの「市議会会議録」検索で

# 党議員団提案の「国保」意見書可決

今議会では、わが党議員団が提案した 国民健康保険の安定運営に係る財政基盤の強化を国に求める意見書」を全会一致で可決。国保料の高さは全国的問題ですが、西宮でも毎年保険料が上がり続けて悲鳴があがっています。国保は当初農業者や自営業者が約6割でしたが、今では非正規労働者に加え、失業者や年金生活者など無職の人が多数です。高齢化と医療の高度化で医療費は膨らむ一方で、所得の低い加入者で保険料を割り算して算出しますから、当然保険料が毎年上がっていくのは当たり前。だからこそ、1984年まで国が半分近くを補助していた、今日ではそれが30%を切っているから、全国の知事会・市長会・町村会が国に一兆円規模の財政支援を求めているのです。党議員団は6月議会で日米地位協定見直しの意見書も提案して可決されましたが、道理ある提案は少数によってでも実現できることを、今回もまた示しました。

## 健康あれこれ 91回 高齢者の転倒

最近、米国では転倒が原因で死亡する高齢者が増えていると、同国などの研究グループが発表しました。研究グループは、米国内のデータを使って、75歳以上の高齢者の転倒による死亡率について、2000年～2016年の推移を調べてわかったそうです。転倒による死亡率は2000年が10万人当たり51.6人で2016年には122.2人に増加したとの事。また、高齢になるほど転倒による危険性は増したそうで、2016年で見ても、75～79歳は10万人当たり42.1人だったのに対し、95歳以上では590.7人と大幅に増えたとの事。少しの段差でつまずくことなどが無いよう、歳をとっても足腰の運動が欠かせないようです。

## 食べ物豆知識 153回 ゲノム編集食品Ⅱ

日本の消費者庁はこのほど、ゲノム編集食品の表示を義務付けないことを決めた。遺伝子組み換え食品は別の遺伝子を組み込むために、遺伝子の一部を切って壊すだけのゲノム編集食品とは違うと政府は言っています。しかし、この研究が本格化してわずか数年であり、破壊された遺伝子の影響で副作用が起こりかねないにもかかわらず、早々と安全宣言をしたような日本政府の対応は、日米貿易協定の最終合意を見込んだ「米国産農産物を輸入しやすくする狙い」が根本にあるのでは？

## まつお正秀の「らむ

石井西宮市長が昨年の所信表明で掲げた「シチズンシップの醸成」。シチズンシップは市民性・市民権と訳されますが、市長が言いたかったことは市民に市政に関心を持つてもらって意見もいい、義務も果たしてくださいという事だと、私流には解釈しました。しかし、これに反する事態が。それは名神湾岸連絡線の工事計画。これは名神高速と阪神高速湾岸線を高架の連絡道でつなげるというもので、わずか2kmで約700億円の計画。先日具体的ルート案が示され、その近隣住民への説明会が4か所で行われました。すべての会場で出された意見はほとんどが反対。石井市長はこの3月の施政方針で、この計画で地元住民に理解を求めると、決まってもいないのに推進の立場を表明していたのです。市民としての自覚を言いながら、一方で国の計画を押し付けるやり方は、「シチズンシップ」に反するのではないのでしょうか。